

## 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

松山市立内宮中学校 教諭 先野 文

### 1. 単元名 ふるさと北条の魅力を再発見し、地域活性化のアイデアをまとめよう。

—生徒でアイデアを出し合う地域おこし—

### 2. 単元の目標

- ・ ふるさと北条地区の歴史・文化・自然・産業を調査し、ふるさとへの関心を高めるとともに、その魅力をまとめことができる。 (知識・技能)
- ・ 調査したことを踏まえて、地域の良い点・改善点を見つめ、地域おこしの方法を考え、伝え合うことができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・ よりよいふるさと北条の実現に向けて、日頃の生活の中で、自分にできることに取り組みもうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、生徒のふるさとである北条の地の活性化のためにできる工夫について考え、プレゼンテーションを行う。生徒は、2月の「少年の日」の講演会において、愛媛県双海町の夕日を元にした町おこしの講演を聴いたことをきっかけに、自分たちでできる地域おこしについて考える機会を持った。その際、生徒自身から、地元の観光資源のひとつとして、沖合400mにある「鹿島」に注目し、そこをベースとした地域おこしを考えたいという提案が出された。

北条の海のシンボルである「鹿島」には260種の植物や、県指定の天然記念物である野生の鹿が生息し、また、近年、身近なキャンプ場として整備されるなど、自然豊かな憩いの場である。また、この地は、春秋に県の無形文化財「櫛練り」が行われ、地区ごとに大型の「だんじり」が出るなど、祭りが盛んであったり、昔から多くの文人に愛されたりするなど、歴史や文化的にも大変魅力のある土地でもある。しかし、一方で、松山のベッドタウンであるこの地区では少子高齢化が進み、就労場所が少ないなどの問題も抱え、以前のような賑わいがなくなったという現状がある。そこで、次世代を担う生徒たちが、自分たちのアイデアをもち、ふるさとの活性化について考えることは、意義あることと思われる。

#### (2) 生徒観

生徒は1年次にフィールドワークを行い、地元産業や、歴史、自然、文化についての調査を行った。そして、自分たちの地域について多くの生徒が、「たくさんの人で守られている温かい場所である」「地域の良さについて考えることは楽しみである」という前向きな考えを持っている。そこで、ここでは統計やインターネット資料を参考にしながら地域の実情を俯瞰するとともに、各地の地域おこしの事例についても知りながら、自分事として、地域発展のために何ができるか考えさせたい。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、以下のことに留意する。

- ① 生徒自身の関心により、主体的・対話的な活動を取り入れた課題追究を行う。
- ② 教科横断的な視点で単元を作成する。国語科：「魅力的な提案をしよう」、社会科：SDGsのターゲット11「住み続けられるまちづくりの方策を考え、提案をする」、また、理科や道徳での学びを含む。
- ③ 校外の資源を活用し、外部の地域人材の活用を効果的に行う。
- ④ ICTの適切な活用を行い、情報を積極的に集めて整理する。

地域における行政の働きかけとして、松山市町づくり推進課・北条鹿島まつり実行委員会に協力いただき、市の総合計画について知ったり、地域を愛し、魅力ある地域を創ってきた方々のお話をうかがったりすることで、生徒の意欲を喚起しイメージを膨らませる。また、現実に市産業経済部観光・国際交流課により、北条鹿島の賑わい活性化を目的とした、来島者の憩いの場となる喫茶スペースの運営について企画・提案・運営の募集が行われており、その場所を活用したイベントについても考え、グループで発表する。

### (4) ESDとの関連

#### 本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

- ・相互性…現在の地域は、先人の努力の継続の上に成り立っているものであり、将来の発展につながる地域の姿を考えていかないと、住民は快適な地域で過ごすことができなくなる可能性があること。
- ・連携性…松山のまちづくりの概念「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」に掲げられてあるよう、地域に笑顔があふれ、交流の中から多くの人々がつながる努力を行わないと、どの世代の人にも幸せが感じられ、新たな活力とにぎわいを生み出すことができなくなること。
- ・責任性…行政だけでなく、地域の住民のもつ責任と役割を自覚し、共に支え合い助け合いながら、積極的にまちづくりに参加していくことで、魅力ある地域生活を送ることができるということ。

#### 本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・未来像を予測して計画を立てる力  
地域の歴史や文化、時代のつながりを考えながら、現状を把握し、にぎわいのある魅力的な地域づくりのためにどんなことができるかを考える。
- ・コミュニケーションを行う力  
地域の今後の発展のためにどのような工夫ができるかを考え、積極的に意見を交換し、考えを深める。
- ・進んで参加する態度  
行政や地域の活性化に関わってきた方の講話から、今後の魅力あるふるさと

の創生のために、自分から積極的に関わっていかうとする意欲を高める。

### 本学習で変容を促すESDの価値観

- ・世代内の公正
 

どの年代の住民も笑顔でつながり、助け合って過ごせる明るい地域社会を創る。
- ・自然環境、生態系の保全を重視する。
 

ふるさとの豊かな自然環境を大切にするための啓発を行うとともに、資源として生かす視点を持つ。
- ・人権・文化を尊重する
 

伊予の豪族河野氏に関わる史跡や行祭り・風早霊場(明治時代創設の88の札所)を守り、継承する。
- ・幸福感を重視する
 

地域の魅力を理解し、ふるさと北条の幸せのために、今後の活性化につながる計画を立てることができる。

### 達成が期待されるSDGs

- 1 1 まちづくり
- 1 4 海洋資源
- 1 5 陸上資源

## 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 地域の特徴やよさを自分なりに感じそれらが地域の人々の努力や工夫によって支えられていること、また、よりよい地域を創るためには、自分たちの積極的な関わりが必要であることを理解している。 ② よりよい地域を実現するための課題をつかむため、関係者の講話から学び、実態調査等に、進んで取り組んでいる。	① これまでの地域との関わりやSDGsについて学習してきたことをもとに課題を作り、解決に向けて計画を立てている。 ② 地域の現状を捉えるために必要な資料について、手段を選択し、多様な方法で収集している。 ③ 収集した情報を比較したり、関連付けたりしながら、よりよいふるさと北条の実現に向けて、考えを深めようとしている。 ④ 話し合った内容を効果的な方法でまとめ、自分の考えを述べている。	① 課題を自分事として捉え、探究的な活動に進んで取り組もうとしている。 ② ふるさと北条をよりよくするために多角的に考える活動を行う中で、自分と異なる他者の意見や考えを受け入れ、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③ よりよい地域の実現に向けて、日常生活の中で、自分にできることに取り組もうとしている。

## 5. 単元の指導計画（全12時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	○評価 ・備考
1	<p>「地域の魅力再発見」</p> <p>北条地区にはどのような魅力があるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史がある（伊予の豪族河野氏ゆかりの史跡が多く残る）</li> <li>・文化人との関わりが深い。（高浜虚子・早坂暁の出身地）</li> <li>・人口が減っている。</li> <li>・「鹿島」の観光 ・福祉の町</li> </ul>	<p>○「北条の GOOD と BAD」として、「地形・気候・交通網・人口の状況についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生時の地域調べを参考にする。（自然・産業・文化・歴史）</li> <li>・他の地域に誇ることでできるものには、どんなものがあるか、また地域の現状が抱える問題点はないか意見をまとめる。</li> <li>・タブレットを使用し、人口の変化のグラフや、高齢化率などの資料を参考にする。</li> </ul>	<p>イ① （思判表）</p> <p>イ③ （思判表）</p> <p>イ② （思判表）</p>
2	<p>行政や、地域おこしに関わる方のお話を聴き、地域活性化への思いを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○松山市役所</li> <li>○北条鹿島まつり実行委員会</li> <li>・各機関の方々は、ふるさとの中学生にどのような思いや願いを持っているだろうか。</li> </ul>	<p>○松山市が「地域の賑わい」のために行っている取組はどのようなものかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの活性化のために、実際に動いている方々のお話から、地域の変容の様子や、現在も変わらず続いていることについて理解する。</li> <li>・ふるさと北条で働いている方に、インタビューをし、ふるさとへの思いを聴く。</li> </ul>	<p>ア① （知技）</p> <p>ア② （知技）</p>
3	<p>ふるさと北条の活性化のために貢献できるイベントを企画し、発表し合おう。</p>	<p>○地域の活性化のために考えたイベントについて、グループでプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの意義や、実現可能かを考える。</li> <li>・参加者が笑顔で交流し、楽しむことができるかを確認する。</li> </ul>	<p>ア①（知技）</p> <p>イ①（思判表）</p> <p>イ③（思判表）</p> <p>イ④（思判表）</p> <p>ウ①（主体的）</p> <p>ウ②（主体的）</p> <p>ウ③（主体的）</p>
4	<p>自分たちが考えた企画を、地域に発信しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画した内容をまとめ、公民館で地域の方に向けてプレゼンテーションを行う。</li> <li>・他の班や、地域の方の意見などを参考にし、企画したアイデアを練り直す。</li> </ul>	<p>ア①（知技）</p> <p>イ④（思判表）</p> <p>イ③（思判表）</p>